

＜今日の説教のポイント 使徒言行録 1章 12-26 節＞

聖霊降臨を待つ弟子たちの姿はすでに信仰的！ では、聖霊降臨とは？

①それまでの信仰の継続 — 旧約聖書の神様への信仰の深化！

この箇所を読むと、主イエスの昇天を見終えた使徒たちが、安息日の定めを守ったこと(12)、ユダの補充を通してイスラエルの部族の数12の修復をしたこと、詩編の引用(20)など、旧約聖書からの信仰を引き続き大事にしていることが伝わってきます。キリスト者たちの信仰は、決して突然急に起こったものではなく、それまでも長く続けて来た、歴史を支配し給う旧約聖書の神ヤハウェが新たに行って下さったことを信じる、信仰の深化と言えるものなのです。

②新しく加わった内容 — 男も女も一緒に一つになって熱心に祈る！

しかし、イエス・キリストに触れた信仰には、まだ聖霊が降りていないこの段階ですでに新しい内容が加わって来ていることも示されています。旧約時代にはなかった、男も女も一緒に集まって熱心に祈る姿です(14)。今の教会もこの姿を受け継いでいますし、失ってはならない姿、さらに進化させるべき姿です。なぜなら、それはパウロが強調するキリストを救い主とする信仰の大事な点をよく示す姿だからです(ガラテヤ3:28)。

③ユダの補充の意味 1 — イエス・キリストが大事！

それにしても、イスカリオテのユダの補充にここまでこだわる理由は何なのでしょう？ 一つは、「**主イエスが福音を伝え始められてから天に上げられた日まで、一緒にいた者の中から選び、主の復活の証人になるべきです**」(21-22)とありますから、この信仰が自分の頭で勝手に考えたようなものでは決してなく、神様が起こして下さったイエス・キリストの出来事の中にその根拠があることを示すためだったと言えるでしょう。

④ユダの補充の意味 2 — 世界中の人々にこの神様を伝える！

二つ目。神様はイスラエルの民を選ばれた時、すでに全ての民にご自身を示す役割を彼らに託されました(創世記12:1-3)。12はイスラエル部族全体の数であり、それから脱落する者が起こっても、ペトロたちはまたそれを補って遂行していくことを示したのです。この後に聖霊降臨が起こったのですから、神様もそれを喜んで受け入れて下さったのです。